

1. 件名：関西電力株式会社との日本原燃株式会社再処理施設及びMOX燃料加工施設の新規制基準適合性審査への支援に関する面談

2. 日時：令和2年6月19日（金） 17時40分～18時20分

3. 場所：原子力規制庁 原子力規制部長室

4. 出席者

原子力規制庁 市村原子力規制部長

原子力規制部

核燃料施設審査部門

岩野係長

関西電力株式会社

水田原子力事業本部長代理、他1名

5. 要旨

(1) 関西電力株式会社より、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）再処理施設の事業変更許可申請に係る新規制基準適合性審査においては、電気事業者各社からの出向等を通して日本原燃を支援しており、今後の再処理施設の設計及び工事計画の認可申請（以下「設工認申請」という。）及びMOX燃料加工施設（以下「MOX施設」という。）の事業変更許可申請に係る新規制基準適合性審査においても引き続き、支援するとの説明がなされた。

(2) 規制庁からは、以下のとおり返答した。

- 再処理施設の事業変更許可に係る審査において、日本原燃は、重大事故の事象選定に係る論点等を中心に、自らのプラントの新規制基準への適合性について考え方を整理して提示することに相当程度の時間を要した。再処理施設の審査の状況を踏まえて実施しているMOX施設の事業変更許可に係る審査においても同様の状況が続いている。今後、適切に審査を進めるためには、申請者としてより一層の体制及び対応の強化が必要であると認識しており、この点については日本原燃に対して直接指摘してきている。
- 再処理施設に関しては、今後、事業変更許可に係る判断を踏まえ、事業者からの申請を踏まえ実施することとなる設工認申請の審査については、実用炉に比し対象機器数が多いこと、それらの重要性が多岐にわたること、既設及び新設の機器が混在すること等のため、日本原燃の適切な対応がなければ、適切な審査を実施できない。
- 日本原燃が適切に審査への対応を進められるよう、関係各社の支援を

含め、適切な体制及び対応の強化をしていただきたい。

6. その他
なし